

令和2年11月18日
福岡市総務企画局企画調整部
福岡地域戦略推進協議会

福岡市実証実験フルサポート事業 「保育の質を上げる“ドキュメンテーション（写真付き保育記録）”の ICT 支援」 実証実験開始！

福岡市と福岡地域戦略推進協議会（FDC）では、AI や IoT 等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、優秀なプロジェクトの福岡市での実証実験をサポートする「福岡市実証実験フルサポート事業」を実施しています。

この度、令和2年3月に採択された、ユニファ株式会社による「保育の質を上げる“ドキュメンテーション（写真付き保育記録）”の ICT 支援」の実証実験が下記のとおり開始されますのでお知らせします。

記

1 事業者 ユニファ株式会社（代表取締役 CEO 土岐 泰之）



2 実証実験の内容

(1) 概要

今回の実証では、下記の保育園において、写真の撮影からドキュメントの作成、周囲への共有までを全てタブレットやパソコン等の端末で行い（ICT 化し）、保育士の業務負担の軽減や、保育の質の向上についての効果を検証します。

※ドキュメンテーションとは、子どもたちの会話や行動、その日の活動内容などを写真やコメントで記録し、子どもたちの興味や関心、保育を目に見えるようにすることです。

(2) 参加する保育園

- ①いるべ保育園（早良区） ②香椎保育所（東区） ③キッズ・キッズ保育園天神（中央区）
- ④さいとみんなの家（西区） ⑤ストロベリーヒルズ（東区） ⑥田島保育園（城南区）
- ⑦つくしんぼのいえ（博多区）

(3) 期間 令和2年11月28日～令和3年秋頃

※詳細は、別紙、実施事業者のリリース資料をご参照ください。

【お問い合わせ先】

福岡市総務企画局企画調整部 吉村、八尋
電話：092-711-4879（内線1219）

ユニファが福岡市実証実験フルサポート事業として、 「保育の質を上げる”ドキュメンテーション（写真付き保育記録）”の ICT 支援」 の実証実験を開始

テクノロジーで保育業務の負担を軽減し、社会の課題を解決するユニファ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：土岐泰之、以下ユニファ）は、「保育の質を上げる”ドキュメンテーション”（写真付き保育記録）”の ICT 支援」の実証実験にご協力いただける福岡市内の保育施設 7 園をテスト園として決定し、実証実験を下記のとおり開始しますのでお知らせします。

※ドキュメンテーションとは、子どもたちの会話や行動、その日の活動内容などを写真やコメントで記録し、子どもたちの興味や関心、保育を目に見えるようにすることです。

福岡市
実証実験
フルサポート事業

×



■ 実証実験を行う背景

▼全国における社会課題

労働人口の増加分は約 8 割が女性^{※1}であり、女性の就業率上昇に伴い、1・2 歳の保育施設利用率が急激に上昇しており^{※2}、今後も上昇が見込まれます。一方、保育士不足は深刻であり、平均求人倍率は 1.93 倍^{※3}と高くなるものの、保育士の離職率は約 18%と、看護師と比較しても約 2 倍近く^{※4}と非常に高くなっています。離職原因は、職場の人間関係、給与(平均 322 万円)に続き仕事量の多さがあげられ^{※5}現場の保育士においては、心と時間にゆとりがなく、あるべき質の高い保育を目指す環境が整っていないと考えられます。

そこで、業務負担を増やすことなく、保育の質を向上させるために注目されている”ドキュメンテーション”ならびに”ICT 化”について、自治体レベルでは全国初となる実証実験を行い、「保育の質の向上」における効果を”見える化”していきます。

新型コロナウイルス感染症拡大で影響を受けた際も、保育現場は変わらず社会インフラとして子どもたちの安心と安全を守るために稼働を続け、幼児期に行われる保育こそがこれからの未知の時代を生き抜いていく子どもたちを育てる大切な場所として、最前線で保育を提供していました。子どもたちをより丁寧に、より豊かにみんなで育てていく、そのためにテクノロジーを活用し、つながり、共有し、対話し、より良い環境を築いていきます。

■ 保育ドキュメンテーションについて

毎日の保育を"写真付き保育記録"として、子どもたちの様子を収めた写真に保育者のコメントを付け、子どもたちの興味や関心、保育を目に見える状態にすることです。またこれをもとに、保育者同士の対話や振り返りに活用することで「次への発展」を検討し、保護者とも共有をすることで子どもや保育施設への理解を深めていく、子ども主体の保育を実現する手法として注目されている手法です。

今回の実証実験のプログラムとして保育者向けの研修も組み込まれており、単に日々の写真付き記録に取り組むのではなく、記録のポイントやその後の活用を通じて、保育者や保護者みんなで子どもの育ちを考えていくプログラムとなっています。

■ スケジュール (予定)

2020年	
11月28日	合同セミナー & 1回目ドキュメンテーション研修実施
12月11日	2回目ドキュメンテーション研修実施
2021年	
1月19日	3回目ドキュメンテーション研修実施
2月10日	4回目ドキュメンテーション研修 成果発表
4月	各園にてドキュメンテーション継続実施およびユニファより随時他園の事例紹介
秋頃	ドキュメンテーション ICT 活用の開始
	ドキュメンテーション ICT 活用の効果測定

■ ドキュメンテーション、ドキュメンテーションの ICT 化について

ドキュメンテーションの ICT 化とは、写真の撮影から、ドキュメンテーションの作成、周囲への共有までを全てタブレットやパソコン等の端末で行うことを指しています。このメリットは以下 2 点です。

① 関連する記録の紐付け

日々作成したドキュメンテーションを、一時的な成果物として終わりにするのではなく、長期的な観察を続けることでその効果は倍増していきます。この鍵は、記録の「関連性の管理」にあります。これをアナログな成果物で実施しようとすると、関連性まで考慮したファイル管理が必要となり、非常に困難です。

一方で、ICTによる作成、管理ではこうしたコストを減らすとともに、手書き等での運用では見えてこなかったつながりまで発見することができます。また、そうして生まれる新たな対話によって保育の質をより高めることに貢献していきます。

②よりスムーズな情報共有

ドキュメンテーションをもとに保育者同士の対話量を増やすこと、そして保護者に参加してもらうためには情報に手軽にアクセスできる利便性が大切です。手元ですぐに確認できないドキュメンテーション、1部しかない資料では、複数人の保育者がその時々で語り合いを始めることは容易ではありません。また、従来の壁張りの掲示では、保護者は送迎のタイミングでしか見ることはできませんでした。データ化して配信するにも、手間が掛かってしまいます。こうした情報共有をICTでよりスムーズに行うことで、ドキュメンテーションの活用を更に発展させていきます。

(イメージ図)

今まで

これから



■ 「ルクミー」シリーズについて <https://lookmee.jp>

「ルクミー」シリーズとは、保育現場での業務負担を軽減するための、IoTやAIを活用した保育支援サービスです。保育園での乳幼児の安全なお昼寝を見守る医療機器によるヘルスケアサービス「ルクミー午睡チェック」、子どもの写真・動画をAIによる写真選定によってオンライン購入ができるサービス「ルクミーフォト」、登降園管理、電子連絡帳や帳票管理を揃えたサービス「キッズリ」などを展開しています。



現在、全国計30ヶ所以上の地方自治体で「ルクミー」シリーズの導入が完了しており、サービス導入数は計10,000件を超え、今後も追加導入を予定しております。なお、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からも「ルクミー」シリーズは注目を集め、保育・子育て領域におけるDX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進しております。

■ ユニファ株式会社について <https://unifa-e.com>

ユニファは保育・育児関連の社会課題を解決することを目指す“Childcare-Tech”領域のスタートアップです。「家族の幸せを生み出す あたらしい社会インフラを 世界中で創り出す」をパーパス（存在意義）に、IoT や AI を活用した保育・子育て支援デバイスの開発およびサービスを提供しています。ユニファが提供をする「ルクミー」シリーズの各種サービスを統合することで子どもの安全や保護者の安心、そして保育業務の負担軽減を実現する次世代型保育施設「スマート保育園®」および「スマート幼稚園®」、「スマートこども園®」の展開により、保育現場における課題解決を通じた保育施設の社会インフラ化、そして女性活躍の推進や労働人口の増加を支援します。

■ オンライン研修イベント『保育をどうしよう未来会議』のおしらせ

ユニファでは、11月24～28日の5日間を“保育をどうしよう未来会議 supported by ルクミー”とし、教育学、教育人間学、育児学などを専門とする東京大学名誉教授および白梅学園大学名誉学長を務める汐見稔幸先生など、様々な講師の方をお招きしたオンラインセミナーを実施予定です。

新型コロナウイルスの感染拡大によって様々なものが激変した今、保育をどのように行っていくべきか？それは園長先生をはじめ保育に関わる皆さま共通のテーマだと思います。ユニファでは、オンライン研修の開催を通じて、皆さまの知恵を共有できる場を設けることで、少しでも保育現場の皆さまにとって、日々の保育の振り返りや、コロナによって失われた研修機会を少しでも補うことにつながればと考えております。

※詳細/事前登録はこちら（録画視聴を希望の方も事前にご登録下さい）

<https://lookmee.jp/miraikaigi/>

(出典)

*1 総務省統計局「労働力調査平成30年」

*2 厚生労働省「保育所等関連状況取りまとめ」

*3 厚生労働省「平成27年 第三回保育士に関する関係資料」

*4 保育士：平成25年社会福祉施設等調査(厚生労働省統計情報部)、看護師：公益社団法人日本看護協会 広報部(2017年) 第1回看護職員需給見通しに関する検討会(保育士は2年未満での離職率、看護師は新卒での離職率を比較)

*5 東京都福祉保健局「平成30年度東京都保育士実態調査結果」

*6 厚生労働省「第3回 参考資料1 保育士等に関する関係資料 保育士検討委員会」

■ 本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

ユニファ株式会社 広報 担当：後藤、藁科

電話：03-6284-2666

mail：press@unifa-e.com